

## 水難事故防止について

今年、1月1日から5月6日現在までの間に、発生が「20件」、「16名」の方が亡くなっています。

昨年同期比で、発生で14件の増加、死者数で13名の増加と極めて厳しい状況となっています。

その特徴（重複記載）は、

- ① 県民の被災が多発（発生13件・死亡12名）
- ② 魚釣りや潮干狩りといった魚とりによる事故が多発（発生8件・死亡8名）
- ③ 飲酒に絡む事故が多発（発生4件・死亡4名）
- ④ 単独での散策・レジャー中における事故が多発（発生11件・死亡9名）

となっています。

県内は、これから本格的な観光シーズンを迎えることから、シュノーケリングや海水浴等といったマリンスポーツの事故の多発も懸念されることから、市民や観光客、マリンスポーツ事業者の皆様には、

- ① 単独での魚とり、マリンスポーツ、海岸付近での散策等を行わない。
  - ② 魚とりやシュノーケリング、遊泳等については、必ずライフジャケットを着用する。（シュノーケリングは危険ですので、器材の基本を習得してから行う）
  - ③ 海水浴等は、監視員や救助員の配置されているビーチ等で行い、危険な場所では泳がない。
  - ④ 飲酒しての魚釣りや遊泳は絶対行わない。
  - ⑤ 心臓疾患等の持病で不安を抱える方や体調不良時は海や河川に入らない。
- 等を実行していただき、悲惨な水難事故がなくなるよう、ご協力をお願い致します。

～「楽しみ」を「悲しみ」にかえないように～



# 水難事故防止広報



夏のシーズン到来

皆さん!! いよいよ レジャーシーズンに入りました。  
 ■今年に入って水難事故が多発しています。注意を!  
 ●水難事故防止につとめましょう!!

## ◆海で遊ぶときは次のルールをまもりましょう

- ① 子供だけで泳ぐのはやめましょう。必ず大人といっしょに!
- ② 体の調子が悪いときや飲酒をしたときは絶対に泳がない、魚釣り、貝採り・タコ採り、潮干狩りもしない。単独では行動しない。
- ③ 海水浴は監視員の配置されているビーチ等で行い、危険な場所では泳がない。
- ④ 潮干狩り、釣り、遊泳、ボートなどに乗るときは、ライフジャケットを着用しましょう。
- ⑤ 波が高いときや風が強いときなどは、海岸や護岸などには近づかない。
- ⑥ ガケや堤防など転落のおそれのある危険な場所には、近寄らないようにしましょう。  
 ※単独で海岸付近での散策等は行わない。
- ⑦ 水難事故が発生したときは、無理に自分だけで助けようとせず、まわりに助けを求めるとともに、消防や警察等へ直ちに連絡しましょう。



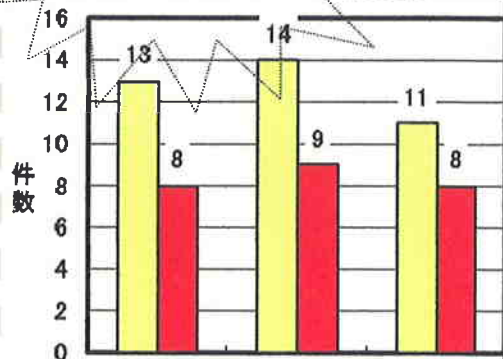
## ◆ シュノーケリングに対する知識を深めてください ◆

### ★ シュノーケリングの安全対策5原則

- ① 浮力の確保  
ライフジャケット、ウェットスーツを着用すること。
- ② 単独で泳がない  
バディシステム(二人一組)で海に入ること。
- ③ 自己流は危険  
使用器材の基本を習得してからはじめましょう。
- ④ 飲酒・体調不良時は事故のもと  
飲酒してのシュノーケルは自殺行為!
- ⑤ 泳ぐ場所の確認  
危険な海域では絶対に泳いではいけません。



シュノーケリング  
事故が多発中!



平成19年 平成20年 平成21年  
 ~シュノーケリング事故の推移~

# 遊泳する皆さんへ (那覇警察署からのお知らせ)

シュノーケリング中の事故が多発しております。  
楽しいマリンレジャーを楽しむために次の事項を守りましょう。

## 遊泳及びシュノーケリング中の注意事項

- ◎ 子供たちの水遊び・遊泳中は、絶対に目を離さない！(^\_^)

ビーチや「プール」であっても、子供たちは一瞬の隙で溺れるので、目を離さないこと。

- メディカル・チェック！（飲酒・体調不良時は事故のもと）(>\_<)

飲酒中や飲酒の翌日、風邪気味、体調不良等のときは遊泳を控えること。

- 浮力の確保！（体が沈まなければ、落ち着いて行動ができます）(^o^)

「シュノーケリング」中は、ライフジャケット、ウエットスーツの着用が絶対安全です。

- 単独では、泳がない！（パディシステムで安心して泳ごう）(^o^)

パディシステム(二人一組)を組んで泳ぎましょう。

特に、遊泳に自信があってもシュノーケルを使用する場合は、相棒(連れ)は動静を見てあげる。一緒に泳いでいたら、泳ぎに夢中になり相手から目が離れる、目を離した隙に(相手は)溺れるので注意をすること。

- 自己流は危険！(>\_<)(◆使用器材の「基本を習得してから」始めること！)

★ 「シュノーケル」等の使用は、必ず、「専門家」や「経験者」等から習ってから始めること！！

★ 自分の体にあつた器材・ライフジャケット、ウエットスーツ、マスク、シュノーケル、フィンを選ぶこと。

★ シュノーケル、マスク、フィンは、正しく装着すること。(ズレがないようにすること。ズレがあつたら事故のもとになります)

★ 「シュノーケルクリアー」のほか、マスククリアー(マスクに水が入った際の水抜き)、フィンワークも練習すること。

★ シュノーケルクリアーとは＝シュノーケルの中に水が入った際に、息を一気に吹き出して、シュノーケル内の水を外に排出すること。素人は1回では排出できない場合があるため注意(訓練)を要します。※遊泳中シュノーケルに水が入るとパニックになるので要注

- 泳ぐ場所の確認！（危険な海域では、絶対に游がない！）(>\_<)

○ ビーチ内でも深みのあることに注意する。○ 監視人のいないところでは

努めて泳がない。● 海には、目に見えない海流があるため、初めての場所

では絶対に泳がない！（流れが早い・深い・波が高い場所では絶対に泳がない）

海のルールを守って楽しい夏の思い出を作りましょう！



那覇警察署水上安全対策係

電話 836-0110 内線293

## ●○○○海・川・池での注意事項○○○●

- 1 海や川・ため池等には、「子供だけ」では、絶対に行かないこと。必ず大人と一緒に！
- 2 海や川・ため池等に「転落する」おそれのある危険な場所には、近づかない！  
(泳げない人が転落すると溺れて、大変なことになります)  
※平成21年8月15日午後、鏡原の国場川で幼稚園児が転落し溺れています。
- 3 川やため池等に設置されている「フェンスや柵を乗り越え」て遊ぶのは、大変危険です！  
(危険ゾーンへ侵入することになり、足をすべらすと溺れてしまいます)  
※過去において、沢山の死亡事故例有り
- 4 台風の余波や「波浪注意報」が出ている等、「波や風が強い日」は、絶対に泳がない！  
(波が荒いときに泳ぐと、波にさらわれてしまい、溺れてしまいます)  
※平成21年6月23日14時頃、北谷町の海岸で高校生が波にさらわれ亡くなっています。
- 5 足のつく「安全な深さ」のところで泳ぐ！★港・テトラポットのところでは泳がない★  
※平成21年7月22日15時頃、西原町の漁港で中学生が深みにはまり亡くなっています。
- 6 「魚釣り」やボートに乗るときも、「ライフジャケット」を着けましょう！  
(護岸・岩場等や船から転落した場合、助かる確率が高くなります)  
※身を守るためには、常に「ライフジャケット」を着用しましょう！

## ◆◇◇◆台風シーズンの注意事項◆◇◇◆

- 1 台風のときは危険ですので、もちろん泳ぐ人はいないと思いますが、中には、「これぞとばかり」に
  - ・ 「サーフィン」や「ウインドサーフィン」をする者
  - ・ 「高波見物」と称して、海岸や岸辺を訪れる者がいますが、大変、危険ですので、絶対にやらないで下さい。  
※これまで沖に流されたり、突然の大波にさらわれる沢山の死亡事故例が有ります。
- 2 また、台風の「余波の中」で魚釣りや遊泳をする方々がありますが、大変、危険です。その場合も、突然の大波にさらわれたり、岩場や護岸等から転落して、波にさらわれる沢山の死亡事故例が有りますので、「高波」や「うねり」があるときの釣りや遊泳は危険ですのでやらないで下さい。  
※平成21年8月、読谷村残波岬で釣り人が岩場から転落し高波にさらわれて死亡。  
※10月3日17時頃、恩納村真栄田岬で米兵が遊泳中波にさらわれ死亡しています。

## △ハブクラゲ発生注意報について▽

- 例年6月に入ると、沖縄県がハブクラゲ発生注意報を発令し、海水浴者等に刺傷事故の未然防止を呼び掛けています。
  - 1 刺されないためには、クラゲネットを設置しているビーチで泳ぎましょう。  
※リゾートホテルや有名なビーチの殆どが設置されています。確認してから泳ぐ。
  - 2 刺されて重症の場合は、呼吸困難(停止)、心肺停止に陥りますので、刺された場合、応急処置をしながら病院で治療を受けるようにしましょう。
  - 3 応急処置＝ハブクラゲの触手が体にくっついておれば、こすらずに、食酢をたっぷりとかけたあと取り除く。その後は氷や冷水で冷やす。